

まちづくり協議会 NEWS



第 13 号

平成 27 年 7 月



[発行] JR 芦屋 駅 南 地 区 まち づ くり 協 議 会



「計画検討会」での検討を進めています！

6月13日（土）に第18回、7月4日（土）に第19回の計画検討会を開催し、第17回で検討した駅前広場のかたち（ロータリー型と通過型）についての比較検討を行いました。



第 18 回 計 画 検 討 会 の 様 子



第 19 回 計 画 検 討 会 の 様 子



「地元住民打合せ会」を開催しました！

第15回計画検討会で提起された、市職員が出席しない「地元住民打合せ会」が、6月6日（土）に行われ、これまでの計画検討会で検討してきた内容を含めて意見が出されました。

地区のまちづくりについて、「これまでに出示されたコンセプトは1つ。10パターンほど出して検討すべき」、「再開発事業の必要性が分からない」、「芦屋駅は、広域的に主要駅で重要な位置づけ。広い視野で考え、芦屋らしいまちづくりを望む」といった意見がありました。

その他、「車があふれている状況は危険。改善が必要」、「駅前線の歩道整備が重要」などの課題に対する意見、「都市計画の規制により、土地利用ができないので、事業を早く進めてほしい」、「JR と の 話 し 合 い が 重 要 。 計 画 な ど を 考 え て い る よ う な ら 提 示 い た だ き た い」など、事業を進めるための意見もありました。

また、このような会を開いたことに対しては、「市主導ではなく、住民側でも代替案をつくる必要がある。この会を開いたことは非常によい機会だと思う。」「計画検討会では意見を言いづらい人も発言されたことは良かった」といった意見もありました。



計画検討会での意見内容

駅前広場のかたち（ロータリー型と通過型）についての比較検討を行うため、3つのパターン案を用いて意見交換を行いました。下記に主な意見を掲載します。

A案 (ロータリー型+東西道路あり)	B案 (ロータリー型+東西道路なし)	X案 (通過型)
駅前広場と東西道路面積の合計 約5,700㎡	駅前広場面積 約4,600㎡	駅前広場面積 約4,800㎡
<p>＜A案に対する意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ロータリーが駅前にできることで、人気の無い寂しい時間帯ができるのではないかな。 駅前広場をロータリー化することで、通過交通を遮断する必要があるのかな。 →（市）駅前の通過交通を排除し、歩行者の安全性を高めることが目的なので必要な方策である。 他の案に比べ、建物街区が小さくなるのではないかな。 	<p>＜B案に対する意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ロータリーが2つに分かれており、2つのロータリーの間を歩行者が行き来できて良いと思う。 他の案に比べて、建物街区が大きく取れる点はよい。 ロータリーを2つに分けることで、周辺の地区に車が進入するなどの影響が出てくるのではないかな。 ロングライフ前の道路を広くするなどの方策を取らなければならないのではないかな。 →（コンサルタント）周辺への影響は想定される。周辺の方々の同意が必要となる一方通行化などの交通規制についても、検討する必要があると考えられる。 	<p>＜X案に対する意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> まちの賑やかさは出てくるように思う。 交通面では、課題があるのではないかなと思う。 歩行者が車道を横断する必要があるなので、危険性があるのは理解できる。 警察との協議ができないことは無いのではないかな。 →（市）警察からは、歩行者の安全性についてはこれまでも言われてきている。現在の課題が解消されることが必要。 駅に近い部分に建物を建てるイメージはつくれないかな。区域の北東に駅近ビルを建てるものを考えてほしい。

＜3つのパターン案に共通した意見＞

- いずれも駅前を交通のスペースが占拠するイメージ。駅前における芦屋らしさについても考えていく必要がある。
- デッキの部分を緑化することでみどりの空間を担保してはどうか。
- JRの検討と時期を合わせていくことはできないのかな。
- 事業費はどのくらいなのか。
- （コンサルタント）一般的に、市街地再開発事業の事業費は1haあたり100億円と言われているが、具体的に詰めるにあたっては、芦屋の置かれた状況、社会情勢などを踏まえて考えないといけない。

第18回計画検討会において、「課題として示された項目の解決方法の整理」、「駅近に建物を配置したX案の派生案の検討」などをテーマとしてほしいという意見があり、第19回計画検討会では、事務局からそれぞれのテーマについて説明し、意見交換を行いました。

2回の計画検討会を通して、「検討内容が駅前広場を中心とした交通に関する内容が中心となっているため、まちとしての姿（全体像）をもう一度検討していく必要があるのではないか」といった意見が参加者から出されました。

次回以降は、交通だけでなく、駅前として望ましいまちのコンセプトやまちづくりイメージを検討していくこととしています。

<その他の出席者の意見>

○駅前の考え方について

- ・家族連れが来るような場所にしたい。
- ・外国のように、今の牧歌的な雰囲気を残してほしい。
- ・高層ビルはやめてほしい。
- ・観光客が訪れるようなまちづくりをしてはどうか。

○駅前は芦屋の中心的な場所

- ・芦屋市の商業的な中心が駅前。商業者を大事にした計画にしてほしい。
- ・建物を駅に近づけた計画が大事。

○コンセプトづくりが重要

- ・何のための事業なのか。コンセプトづくりが重要。これまでの検討をリセットして考えてはどうか。

→（市）平成13年度に計画を延期し、平成23年度に検討を再開した。再開後は、白紙の状態から皆さんと一緒に考えてきた。

- ・市の提案は受け入れられない。

→（市）昨年12月に「ロングライフ前の道路以北の区域で市街地再開発事業を検討していきたい」という提案を市から行ったが、あくまで提案で、何か決定した内容があるわけではない。

- ・四角いビルが建つようなワンパターンの駅前開発はやめてほしい。開発することで利便性を上げることも必要だが、どこも同じような金太郎飴のような駅前はいらない。
- ・自分たちの土地に建てるのだから失敗は許されない。
- ・外国の建築家などにコンペをして、案を出してもらってはどうか。

→（市）協議会の皆さんの意見を尊重して計画をつくっていきたいと考えている。

○今後の検討に向けて

- ・説明を聞いて、3つのパターン案にはそれぞれ欠点がある。交通だけでなく、駅前を総合的に見た観点から検討をしてほしい。
- ・ロングライフ前の道路以北の区域の人の意見を汲んで、計画に反映させてほしい。
- ・これまでの案は、交通中心という点でどれも同じコンセプト。発想を変えた観点から案をだしてほしい。
- ・次回は、今回の意見を取り入れた内容にしてほしい。それでなければ集まる意味がない。

→（コンサルタント）次回提示の宿題として進めていきたい。



お知らせ

これまでの計画検討会では、駅前広場など交通に関する検討を中心に進めてきましたが、第20回からは、他地区の事例等を用いて、まちのかたちやまちづくりのイメージなどの検討を行っていきます。先進地視察では、建物街区の様子や周辺道路の状況なども含めたまちのかたちについて視察する予定です。

◆今後の予定◆

■ 第20回計画検討会

日時：平成27年7月25日（土）午前10時00分より

場所：市民センター（公民館）114室

内容（予定）：まちのかたちやまちづくりのイメージなどの検討

・まちづくりを進めていくためのまちのイメージについて、他地区の事例写真などを用いながら、意見交換を行う予定です。

■ 第21回計画検討会（先進地視察）

日時：平成27年7月30日（木）午前8時45分集合

場所：JR芦屋駅南側集合

内容：寝屋川市（香里園駅東地区、寝屋川市駅東地区）の見学

・まちづくり事業を行った事例として、寝屋川市の2地区の見学を行い、市役所・地元関係者の方々にお話をお聞きする予定です。

■ 第22回計画検討会

日時：平成27年8月 8日（土）午前10時00分より

場所：上宮川文化センター 3階 大会議室

内容（予定）：まちづくりイメージを元にした街区の検討

・第20回の意見内容を受け、建物街区を含めた検討を行う予定です。

○駅前に設置しているまちづくり協議会の広報板について

多くの方に計画検討会の様子を知っていただくために、駅前の広報板にニュースを掲示していましたが、計画検討会での「関係者以外に知らせる必要はないのでは」といったご意見を受け、一旦取り外しています。

■お問い合わせ先

JR芦屋駅南地区まちづくり協議会
（事務局）〒659-8501 芦屋市精道町7-6
芦屋市都市建設部都市整備課
☎ 0797-38-2074
FAX 0797-38-7974
HP：<http://www.city.ashiya.lg.jp/gairo/jrashiyasouth.html>

JR芦屋駅南地区のまちづくり
についてご紹介しています!

JR芦屋駅南地区

検索